

支笏湖のシンボル山線鉄橋



北海道で現存する現役最古のもので、日本の橋梁史においても稀少かつ重要な資料として評価

英国製200ftピン構造ダブルワーレントラス橋で、明治政府より1882(明治15)年に鉄道建設技師長として招聘させたイギリス人のチャールズ・ポーナルの設計による

日本に140基が輸入され現存するのは4基のみ

住民の声: 鉄橋は私たちがここで暮らす
背景を伝える大切なシンボル
住民にとっては心のよりどころで
あり続けるだろう

